

●標準化と知財に関するインターンシップ受入れ体制

出井 克人 (キヤノン)

【質問者】

企業では、社員が商品知識を正確に持ち技術もシッカリ分かって、ようやく一人前になる。

その後に、はじめて標準化に関する議論ができると思う。

商品知識も技術的ポイントも分からない大学生が標準を勉強することについて、教育を経験された立場から、どのように考えるか？

【発表者】

インターンシップでの教育は、もとより社員教育とは目的が異なる。学生には、就業という経験を積みキヤノンという会社を知ってもらえればよく、就業経験の中で標準という世界があることを知ってもらっただけで良いと思う。